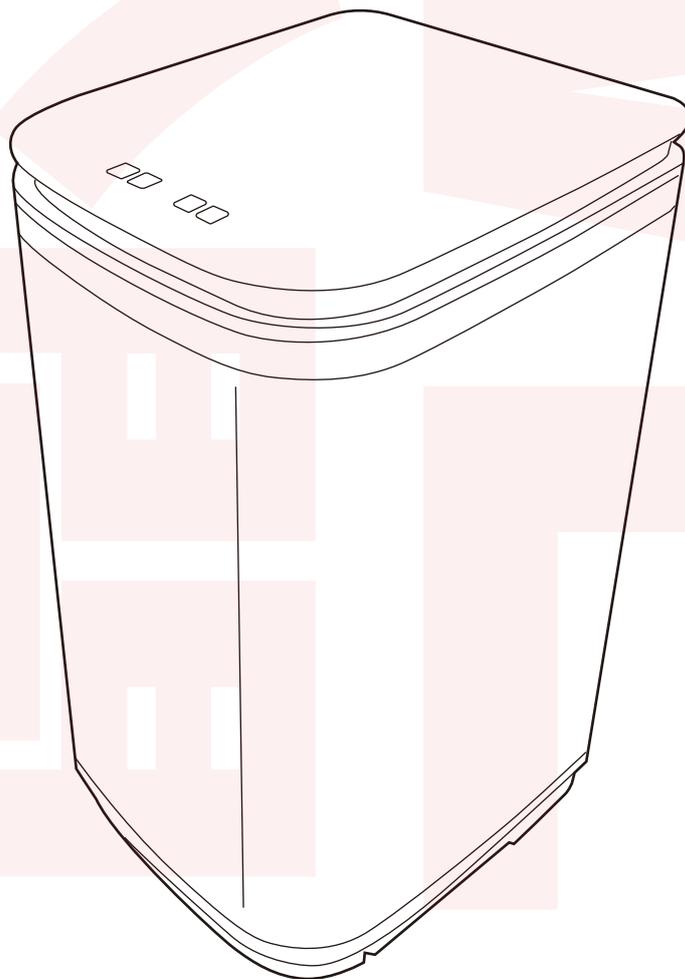


THANKO

型番：MHTWSHSWH

取扱説明書

Ver1.02 y



このたびは、本製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

※重要 お読みになった後は、お手元に置いて保管してください。

家庭用

日本国内専用
Use only in Japan

保証期間：購入日より12ヶ月

目次

安全上のご注意	3～7
各部名称・付属品	8
操作パネル	9
洗濯前の準備	10
衣類の確認	11
洗濯コース	12
洗濯手順	13
洗濯予約	14
チャイルドロック	15
熱水・温水洗い	16
槽洗浄	17
お手入れ 本体	18
お手入れ 糸くずフィルター	19
組立（底板の取付）	20
組立（内フタの取付）	21
据え付け	22
据え付け アース・電源の接続	23
据え付け 排水ホースの取付	24
据え付け 給水ホースの取付	25～26
故障かな？と思ったら	27～28
アフターサービス	29
仕様	30
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	31

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。



禁止（してはいけない内容）を示します。



強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」全てをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める場所に必ず保管してください。
- ・他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。



警告

◆設置について



浴室など湿気の多い場所、屋外など風雨にさらされる場所に据え付けない。

感電・電気部品をいためるおそれ。



本体をしっかりと水平な面に設置する。

水もれの原因。



注意



冬場に凍結するおそれがある場所（室温0℃以下）に設置しない。

故障の原因。



周囲にできる限り物が無い所に設置する。

本体から出る水蒸気によって、結露することがあります。

熱源から離し、直射日光の当たらない所に設置する。

塗装のはがれや変色・変形・破損の原因。

本体底面を塞がないように設置する。

故障の原因。

安全上のご注意

必ずお守りください



警告

◆電源プラグ・電源コードについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。

感電のおそれ。



水ぬれ禁止

電源コード、電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電の原因。



電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用しない。また重い物を載せて使用しない。

電源コードが破損し、火災・感電の原因。

指定された電源、電圧以外では使用しない。(日本国内専用)

火災・感電・故障の原因。

乳幼児に電源プラグをなめさせない。

感電・けがの原因。

電源プラグの差し込みがゆるいときは使わない。

ショート・感電・発火の原因。

延長コードは使用しない。

発火のおそれ。



電源プラグは根元まで確実に差し込む。

火災・感電の原因。

電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る。

火災・感電の原因。

定格 15A 以上、交流 100V のコンセントを単独で使用する。

発火・感電・故障の原因。

電源コードに足をかけないように注意する。

製品が横転してけが・故障の原因。

電源コードはすべてほどいて使用する。

発火・感電の原因。



アース接続

アースを必ず取り付ける。

故障や漏電時、感電の原因になります。アース工事は必ず電気工事店などに依頼してください。(工事費は本体価格に含まれません)



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って引き抜く。

発火・感電・故障の原因。

お手入れするときや長期間使わないときは電源プラグをコンセントから抜く。

外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因。

安全上のご注意

必ずお守りください



警告

◆本体の取り扱いについて



分解禁止

改造や分解をしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。

火災・感電・けがの原因。修理は弊社サポートセンターまでご相談ください。



子どもや不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない。近くに台を置かない。子どもに洗濯、脱水槽をのぞかせない。

子どもが落ちて溺れる・やけど・けがの原因。

引火物や火気を洗濯槽の中に入れない、近づけない。

火災の原因。

洗濯槽が完全に止まるまで、中の洗濯物などに手を触れない。

けが・事故のおそれ。

運転中は洗濯機の下に手足などを入れない。

ショート・感電・発火・手足を切る原因。

穴、隙間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物をいれない。

火災・感電・やけどの原因。

回転中の洗濯、脱水槽に手などを入れない。

ゆるい回転でも洗濯物が巻き付いてけがの原因。回転が完全に止まるまでは洗濯ものやドラムには絶対に触れないでください。

熱水 / 温水モードの洗濯時は水が高温になるので触れない。

やけどの原因。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電の原因。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因。

・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している

・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い

・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする

・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする

・本体が動作しない など

上記のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意



業務用として使用しない。

本製品は一般家庭用です。業務用に使用すると無理な負担がかかり、故障の原因。

操作パネルに磁気のあるものを近づけない。

誤作動の原因。

排水ホースからの排水に触れない。

やけどの原因。

運転中に本体を動かしたり、傾けたりしない。

水もれの原因。

洗濯物がはみ出た状態でフタを閉めない。

フタが変形し、熱湯や水が飛び出しやけどの原因。

本体の上に乗ったり物を置いたりしない。

落下・破損によるけがの原因。

フタを開けるとき、フタの上に重いものをのせない。

落下してけが・故障の原因。

厚手の生地や毛足が長い起毛素材を洗濯しない。

異常振動による本体の故障、けが、洗濯物の飛び出しや破れの原因。

65度以上のお湯を使用しない。給湯器とつながない。

変形・故障の原因。

お手入れの際は有機溶剤（ベンジン、シンナー、石油等）、薬品類（漂白剤、消毒液等）、研磨剤、重曹は使用しない。

変形・変色・故障の原因。



フタを開閉するときは、指を挟まないように注意する。

けがの原因。

運転終了後は水栓を閉める。

水もれの原因。

運転中にフタを開ける場合は、スタート/一時停止ボタンを押して、運転が停止したことを確認する。

やけど・けが・故障の原因。

運転前や水栓の接続部を変えたあとなどは、水栓を開いて水もれがないことを確認する。

水もれの原因。

安全上のご注意

必ずお守りください

使用上のお願い



運転中は電源プラグを抜かない。

故障の原因。

本体にテレビやラジオを近づけない。

画面が乱れたり、雑音が入ったりするおそれ。

油よごれ、シンナーなどが付着した衣類を洗濯しない。

発火、事故の原因。



付属品は必ず専用のものを使う。

異なる製品の付属品を使用すると、付属品の破損・本製品の故障の原因。

※記載されている物以外は付属いたしません。

※本製品のご使用において生じる事故や荷物破損、けがなど一切の責任は負いかねます。

※異常を感じたらご使用をやめてサポートセンターまでご連絡ください。

※本製品のご使用において生じる物品の破損は、保証の対象外となります。

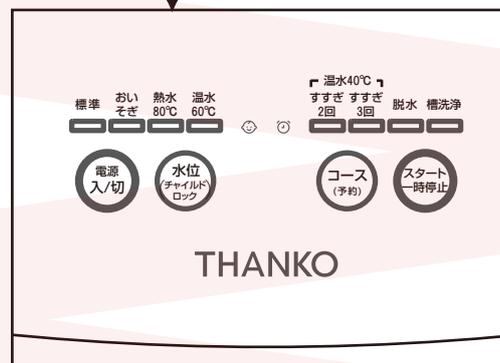
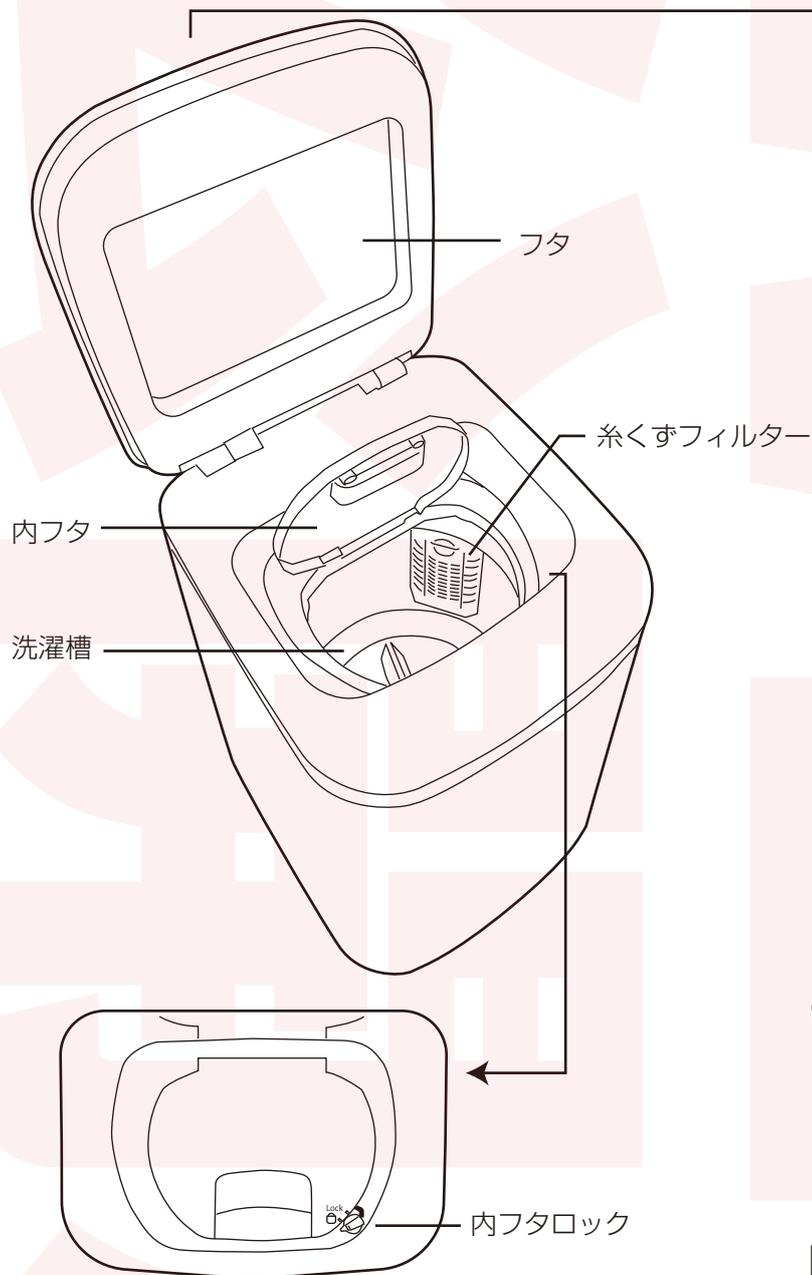
※お客様の過失による故障・破損および改造などはサポート保証の対象外となります。

※正しく使用されない場合に生じた事故等について弊社での責任は負いかねます。

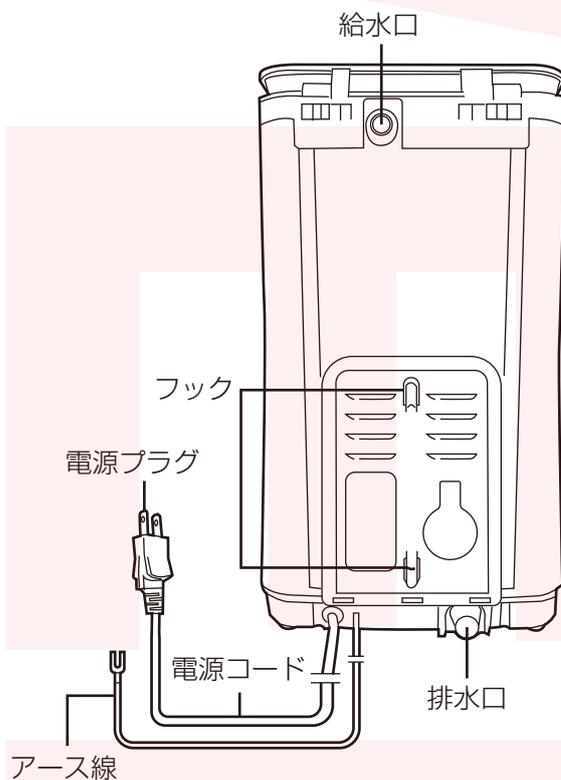
※製品仕様は改善のため予告なく変更する場合があります、そのため説明書記載の内容と異なる場合があります。

※本製品は日本販売向けの商品となります。海外でのご使用はサポート外となりますのでご了承ください。

各部名称・付属品

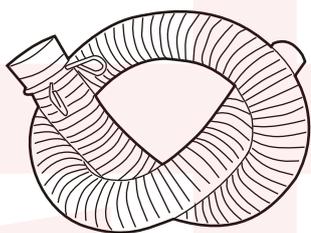


操作パネル

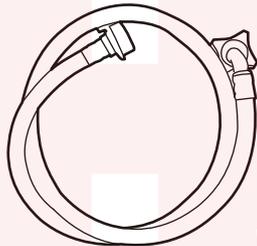


付属品

排水ホース

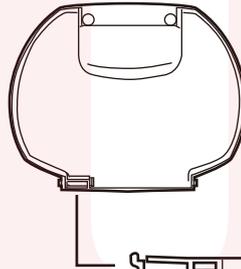


給水ホース



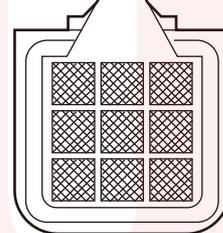
給水栓つぎて
※給水ホース先端に
接続済

内フタ

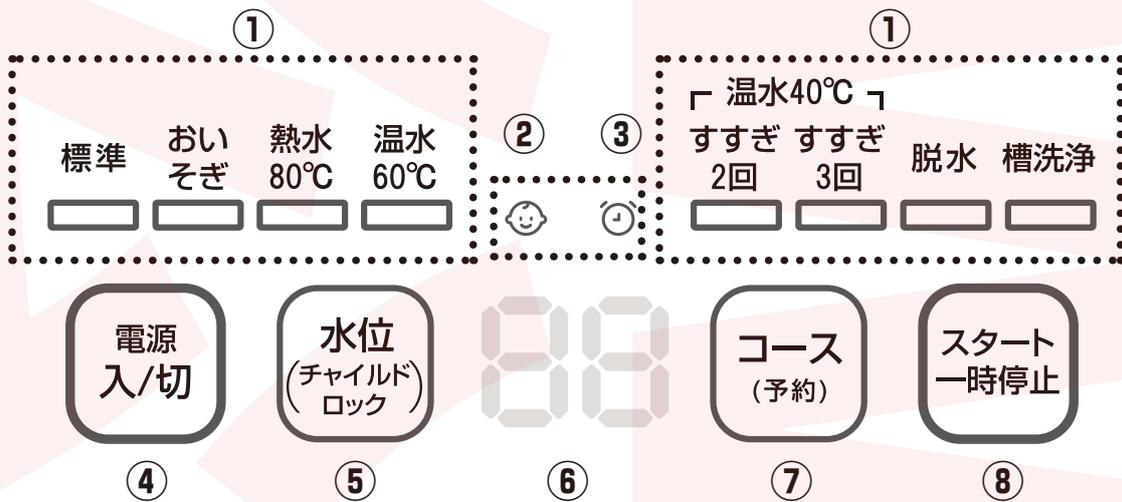


シャフトピン (予備1個)
※あらかじめ内フタに
1個取り付け済

底板



操作パネル



①		洗濯コース (LED ランプ)	現在選択されているコースが点滅します。洗濯を開始すると点灯に変わります。
②		チャイルドロック (LED ランプ)	チャイルドロック時に点灯します。 洗濯開始後に、水位 (チャイルドロック) を長押し (3秒ほど押しっぱなし) にするとチャイルドロックがかかります。解除する場合は、水位 (チャイルドロック) を長押しします。
③		予約 (LED ランプ)	洗濯の予約をしている場合に点灯します。 洗濯予約は、洗濯コースと水位レベル決定後に、コース (予約) を長押しします。予約を解除する場合は、コース (予約) を押し続けて、予約なしを選択、もしくは一度電源をオフにし、再度設定してください。
④		電源ボタン	長押しで電源のオンオフができます。10分操作がない場合、自動的にオフになります。洗濯終了後、5秒で電源オフになります。
⑤		水位 (チャイルドロック) ボタン	短く押す：洗濯の水位を設定します。L1 (11L)、L2 (14L)、L3 (15L)、L4 (18L) 長押し：チャイルドロックのオンオフができます。
⑥		ディスプレイ	洗濯時間表示、水量表示 (エラー表示) を行います。各洗濯コースの目安時間 (分) と水位レベルを表示します。
⑦		コース (予約) ボタン	短く押す：洗濯コースを選びます。8コースの中から選択します。 長押し：洗濯予約を設定します。2～24時間で洗濯開始時間を設定します。
⑧		スタート / 一時停止ボタン	コース・水位決定後に押すと、洗濯を開始します。 また洗濯中に押すと、一時停止します。

洗濯前の準備

上手に洗濯をするため、また洗濯機を長くお使いいただくために次のことにご注意ください。

●洗濯表示の確認

衣類についている取り扱い絵表示を確認してください。手洗い / 洗濯不可の衣類は洗濯しないでください。



絵表示例：液温は 40℃ を限度とし、手洗いができる



絵表示例：家庭での洗濯禁止

指定された水温の上限を守ってください。



絵表示例：液温は 40℃ を限度とし、洗濯機で洗濯ができる

●泥や砂を落とす

洗濯槽に衣類を入れる前に、泥や砂を払い落としてください。汚れがひどい場合は、部分汚れ用洗剤等で先にもみ洗いしてください。

●ヒモは結ぶ・ファスナーは閉める

ヒモがある衣類の場合、ヒモが衣類に絡んで破損の原因となります。ファスナーを開けたまま洗濯すると、衣類や洗濯槽を傷付ける原因となります。

●糸くずや毛玉が出るものは裏返す

糸くずや毛玉が出る衣類は裏返して洗濯してください。

●ポケットの中を確認する

ヘアピンや小銭は、衣類や洗濯槽を傷付けたり、故障の原因となります。必ず洗濯前にポケットに何か入っていないか確認してください。

●ワイヤー入りブラジャーは洗濯ネットに入れる

ワイヤーが外れ、衣類や洗濯槽を傷付ける原因となります。

●色落ちする衣類は分けて洗う

スカーフおよび外国製の衣類は色落ちしやすいのでご注意ください。

色落ちしそうなものは、あらかじめ色落ちの確認をしてください。白いタオルなどに洗剤液を含ませ、目立たない部分に強く押し当ててタオルに色移りしないかを確認してください。

●ペットの毛や髪の毛を取る

洗濯槽に衣類を入れる前にペットの毛や髪の毛はブラシで取り除いてください。詰まりの原因になります。

衣類の確認

洗濯前に必ず確認してください。

洗えないもの

- シルク、レーヨン、キュプラ製品（混紡製品含む）
- 皮革、毛皮、合成皮革製品
- 防水加工がされた衣類製品
- 中綿、スポンジ、ビーズ等を使用したクッションや枕類
- ウレタンやゴムを使用した製品
- シワ、エンボス加工が施された衣類
- 衣類以外（紙オムツなど）
- 和服、和装小物
- 強撚糸を使用した製品（ちりめん織など）
- 毛倒れするもの（ベルベットなど）
- 手洗い推奨、家庭での洗濯禁止の衣類
- 厚手のカーペットや毛布類
- 洗濯補助具（洗濯ボール、ゴミ取りフィルター）

各コースの注意事項

標準・おいそぎ	洗濯前に取り扱い絵表示を確認してください。 10ページ ▶
熱水（80℃）	素材に注意してください。
温水（60℃）	シワに注意してください。
温水（40℃）	洗濯前に取り扱い絵表示を確認してください。 10ページ ▶ 素材に注意してください。

洗濯コース

コース	コース内容	洗い	すすぎ	脱水	洗濯時間目安※
標準	洗い⇒すすぎ 2 回⇒脱水	14 分	18 分	5 分	39 分
おいそぎ	洗い⇒すすぎ 1 回⇒脱水	8 分	9 分	5 分	22 分
熱水 80℃	温め⇒洗い⇒すすぎ 2 回⇒脱水	54 分	22 分	5 分	81 分
温水 60℃	温め⇒洗い⇒すすぎ 2 回⇒脱水	49 分	22 分	5 分	76 分
温水 40℃ すすぎ 2 回	温め⇒洗い⇒すすぎ 2 回⇒脱水	44 分	22 分	5 分	71 分
温水 40℃ すすぎ 3 回	温め⇒洗い⇒すすぎ 3 回⇒脱水	44 分	26 分	5 分	75 分
脱水	脱水			8 分	8 分
槽洗浄	洗濯槽洗浄 (温水 60℃)	46 分	20 分	5 分	71 分

※洗濯時間は水道水圧水温や排水条件によって変わります。

●コース選択の目安

- 標準…日常のお洗濯
- おいそぎ…手早く洗いたい場合
- 熱水 80℃…汚れがひどい衣類
- 温水 60℃、40℃…日常のお洗濯、においなどが気になる衣類やタオル
※シワに注意してください。
- 脱水…脱水のみ行いたい場合
- 洗濯槽洗浄…洗濯槽の汚れが気になる時

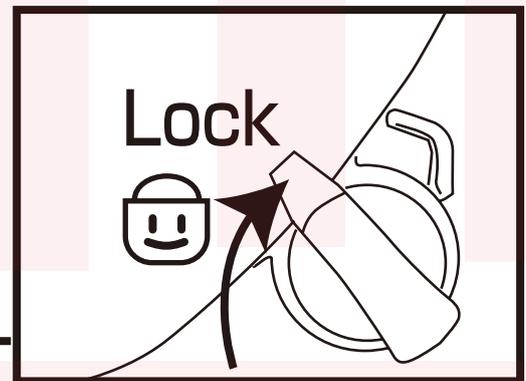
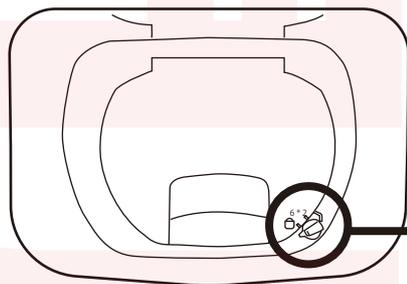
●タッチパネルについて

コントロールパネルは「タッチパネル式」となります。ボタンに触れると反応します。
ボタンを強く押し込んでも反応しません。
 コントロールパネルの操作を行う際は、ボタンに軽く触れてください。
 ボタンの反応が悪い場合は、指先を保湿した後触れてください。指先が乾いた状態だと反応しにくくなります。

洗濯手順



- 1 水道の水栓を開け、洗濯物を入れます。
- 2 電源ボタンを長押しすると、音が鳴り、各洗濯コースのLEDランプとディスプレイが点灯します。
- 3 コース(予約)ボタンを押して、洗濯コースを選びます。選択しているコースのLEDランプが点滅、ディスプレイに各コースの総時間(分)が表示されます。
- 4 水位(チャイルドロック)ボタンを押して、水位を設定します。L1(低)～L4(高)まで洗濯物の量により選択してください。
- 5 設定した水位に合わせて洗剤を入れます。
※本製品には柔軟剤投入口はありません。洗濯開始前に投入、もしくは洗濯中にスタート/一時停止ボタンを押し、洗濯を止めて、柔軟剤を投入してください。
- 6 内フタを閉め、内フタをロックします。
- 7 必要に応じ、予約(→P.14参照)を設定後、スタート/一時停止ボタンを押すと、洗濯を開始します。チャイルドロック(→P.15参照)を設定する場合は、スタート後設定します。
- 8 洗濯が終わると、音が鳴ります。完全に洗濯槽が止まってから、フタを開け、内フタロックを解除、洗濯物を取り出します。



⚠ 注意

洗濯終了後は、必ず水道の水栓を閉めてください。
洗濯終了後は、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。
洗濯中にフタを開けると警告音が鳴り、洗濯が止まります。(E3エラー) フタを閉め、【スタート/一時停止】を押すと、止まったところから洗濯を再開します。

洗濯予約



2～24時間後の間で洗濯の予約をすることができます。洗濯は予約した時間の15分前に運転を開始します。例えば2時間で予約した場合、1時間45分後から運転を開始します。

- 1** 水道の水栓を開け、洗濯物を入れます。
- 2** 電源ボタンを長押しすると、音が鳴り、各洗濯コースのLEDランプとディスプレイが点灯します。
- 3** コース(予約)ボタンを押して、洗濯コースを選びます。選択しているコースのLEDランプが点滅、ディスプレイに各コースの総時間(分)が表示されます。
- 4** 水位(チャイルドロック)ボタンを押して、水位を設定します。L1(低)～L4(高)まで洗濯物の量により選択してください。
- 5** 設定した水位に合わせて洗剤を入れます。
※本製品には柔軟剤投入口はありません。洗濯開始前に投入、もしくは洗濯中にスタート/一時停止ボタンを押し、洗濯を止めて、柔軟剤を投入してください。
- 6** コース(予約)ボタンを長押しすると、ディスプレイに2(時間)が表示されます。コース(予約)ボタンを押すごとに2, 3, 4…と時間が増えます。24の次はコース予約なし→2, 3…と変わります。コース(予約)ボタンを押し続けると、素早く数字が変わります。
- 7** 内フタを閉め、内フタをロックします。
- 8** スタート/一時停止ボタンを押してから指定した時間が経過すると、洗濯を開始します。
- 9** 洗濯が終わると、音が鳴ります。完全に洗濯槽が止まってから、フタを開け、内フタロックを解除、洗濯物を取り出します。

※予約を中断したい場合は一度電源をオフにしてください。

チャイルドロック



幼児が誤って操作しないように、洗濯中操作を受け付けないようにします。

- 1** 水道の水栓を開け、洗濯物を入れます。
- 2** 電源ボタンを長押しすると、音が鳴り、各洗濯コースのLEDランプとディスプレイが点灯します。
- 3** コース(予約)ボタンを押して、洗濯コースを選びます。選択しているコースのLEDランプが点滅、ディスプレイに各コースの総時間(分)が表示されます。
- 4** 水位(チャイルドロック)ボタンを押して、水位を設定します。L1(低)～L4(高)まで洗濯物の量により選択してください。
- 5** 設定した水位に合わせて洗剤を入れます。
※本製品には柔軟剤投入口はありません。洗濯開始前に投入、もしくは洗濯中にスタート/一時停止ボタンを押し、洗濯を止めて、柔軟剤を投入してください。
- 6** 内フタを閉め、内フタをロックします。
- 7** スタート/一時停止ボタンを押すと、洗濯を開始します。
- 8** 水位(チャイルドロック)ボタンを長押しします。チャイルドロックのLEDランプが点灯します。チャイルドロックを解除するには、水位(チャイルドロック)ボタンを長押しします。LEDランプが消灯します。
- 9** 洗濯が終わると、音が鳴ります。完全に洗濯槽が止まってから、フタを開け、内フタロックを解除、洗濯物を取り出します。

熱水・温水洗い

熱水は最大 80℃、温水は最大 60℃のお湯で洗濯することができます。
必ず「衣類の確認」(→ P.11 参照)を確認の上洗濯を行ってください。

熱水洗い 80℃

最大洗濯量：1.5kg

最大温度：80℃ 水の量によって温度は変わります。

L1：約 80℃、L2：約 70～80℃、L3：約 60～70℃、L4：約 50～60℃

水位が 1L になると加熱開始、加熱温度が 80℃、もしくは加熱が 40 分続くと洗濯を開始します。

温水洗い 60℃

最大洗濯量：1.5kg

最大温度：60℃ 水の量によって温度は変わります。

L1：約 60℃、L2：約 60℃、L3：約 50～60℃、L4：約 50℃

水位が 1L になると加熱開始、加熱温度が 60℃、もしくは加熱が 40 分続くと洗濯を開始します。

温水洗い 40℃

最大洗濯量：1.5kg

最大温度：40℃ 水の量によって温度は変わります。

L1：約 40℃、L2：約 40℃、L3：約 30～40℃、L4：約 30～40℃

水位が 1L になると加熱開始、加熱温度が 40℃、もしくは加熱が 30 分続くと洗濯を開始します。

⚠ 注意

- 熱水・温水洗濯中は内部温度が高くなります。洗濯中はフタを開けないでください。
- 最大洗濯量を超える洗濯物を入れしないでください。衣類が傷むおそれがあります。
- 熱水・温水洗濯後はフタなどが結露するので、拭き取ってください。

槽洗浄



洗濯槽のお手入れは 1 ～ 2 ヶ月に 1 回をおすすめします。

洗濯物の汚れや水質により、洗濯槽に汚れが蓄積し、ニオイや排水不良の原因になり、汚れがはがれて洗濯物を汚す場合があります。

- 1 水道の水栓を開けます。
- 2 電源ボタンを長押しすると、音が鳴り、各洗濯コースの LED ランプとディスプレイが点灯します。
- 3 コースボタンを押して、槽洗浄コースを選びます。水位は L2 固定となります。
- 4 内フタを閉め、内フタをロックします。
- 5 スタート / 一時停止ボタンを押すと、槽洗浄を開始します。
- 6 槽洗浄が終わると、音が鳴ります。完全に洗濯槽が止まってから、フタを開け、内フタロックを解除、フタを開けて洗濯槽を乾燥してください。

※酸素系漂白剤や台所用塩素系漂白剤、市販の界面活性剤入りの洗濯槽クリーナーは使用しないで下さい。(泡立ちが多いため、槽から泡が溢れたり、槽に泡が残ることがあります。)

※市販の洗濯槽クリーナーを使用するときは、容器の記載に従ってください。

お手入れ 本体

⚠ 注意

- お手入れは電源を切って必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れは運転終了後、洗濯槽が常温になっていることを確認してから行ってください。高温部に触れるとやけど・けがの原因になります。
- お手入れ後に給水・排水ホースの接続が緩んでいる場合は、しっかり取り付けてください。
- お手入れの際はベンジンやシンナー、漂白剤、みがき粉、研磨剤、アルカリ性洗剤、金属たわし、硬いスポンジたわしを使用しないでください。
- 本体に水やお湯を直接かけないでください。水漏れや内部に水が入るなどして、漏電による火災・感電の原因になります。またこれらによって修理が必要となった場合、保証期間内でも保証の対象外となりますのでご注意ください。

お手入れのタイミング：汚れが目立ったとき

本体

柔らかい布で全体を乾拭きしてください。
汚れがひどい場合は、ぬるま湯もしくは食器洗い用洗剤を含ませた布で拭いてください。
※フタや操作パネルなどに洗剤が付いた場合は、乾いたタオルで拭き取った後、濡れたタオルで拭いてください。



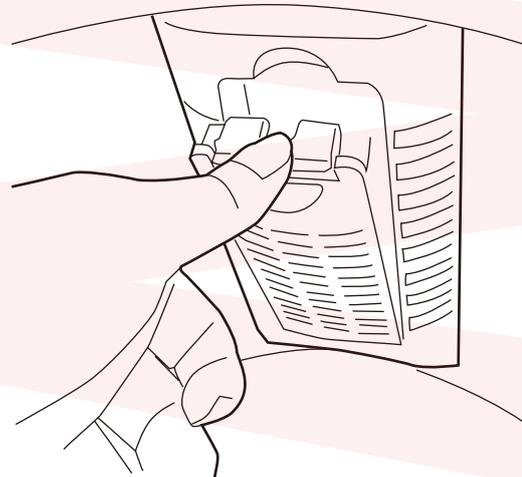
お手入れ 糸くずフィルター

お手入れ頻度：洗濯後毎回行ってください。

1 糸くずフィルターを外す

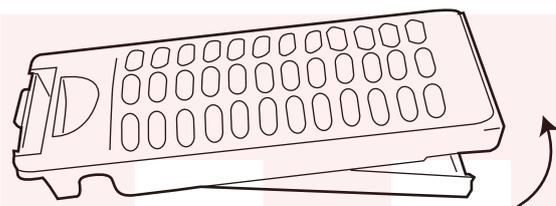
糸くずフィルターの上のツメに指をかけ、押し下げてから手前に引きます。

糸くずフィルター



2 糸くずフィルターを開く

糸くずフィルターを開き、中の糸くずなどを取り除いてください。
糸くずフィルターの網目部分に付着したゴミをキレイに取り除いてください。



3 糸くずフィルターを取り付ける

逆の手順で、洗濯槽に糸くずフィルターを取り付けます。

- カチッと音がするまで押し付けて、しっかりと洗濯槽に取り付けてください。糸くずフィルターが確実にハマっていない場合、洗濯中に糸くずフィルターが外れ、衣類を痛めるおそれがあります。
- 糸くずフィルターが目づまりしたまま使用すると、糸くずフィルターの残りカスが洗濯物に再付着するおそれがあります。

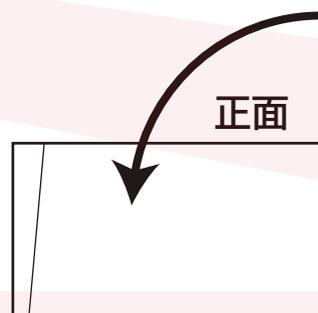
組立（底板の取付）

⚠ 注意

- 組み立ては広い場所で行ってください。
- 指や手を挟まないように注意して行ってください。
- 水平で鋭利なものがない場所を選んでください。
- 床に毛布等を敷いて、傷がつかないように保護してください。

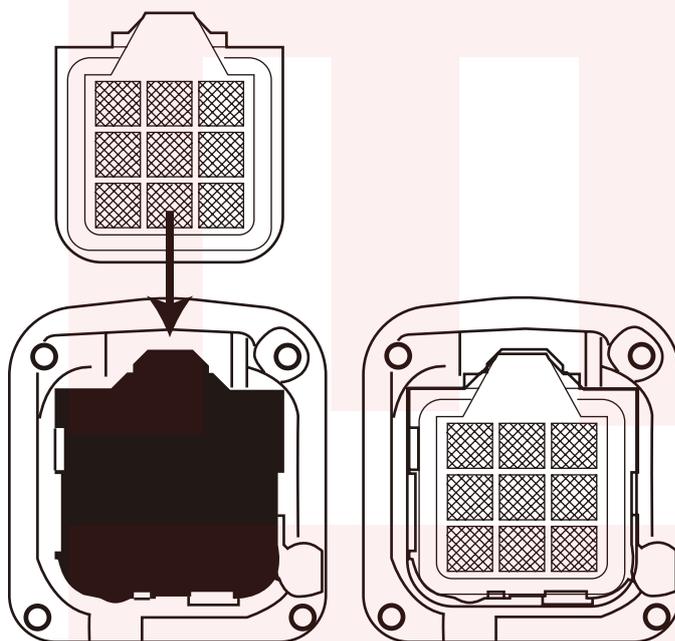
1 洗濯機を倒す

正面を上にして倒します。



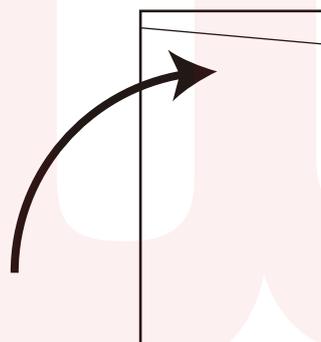
2 底板を取り付ける

本体の溝に、底板をはめ込み、スライドさせます。



3 洗濯機を起こす

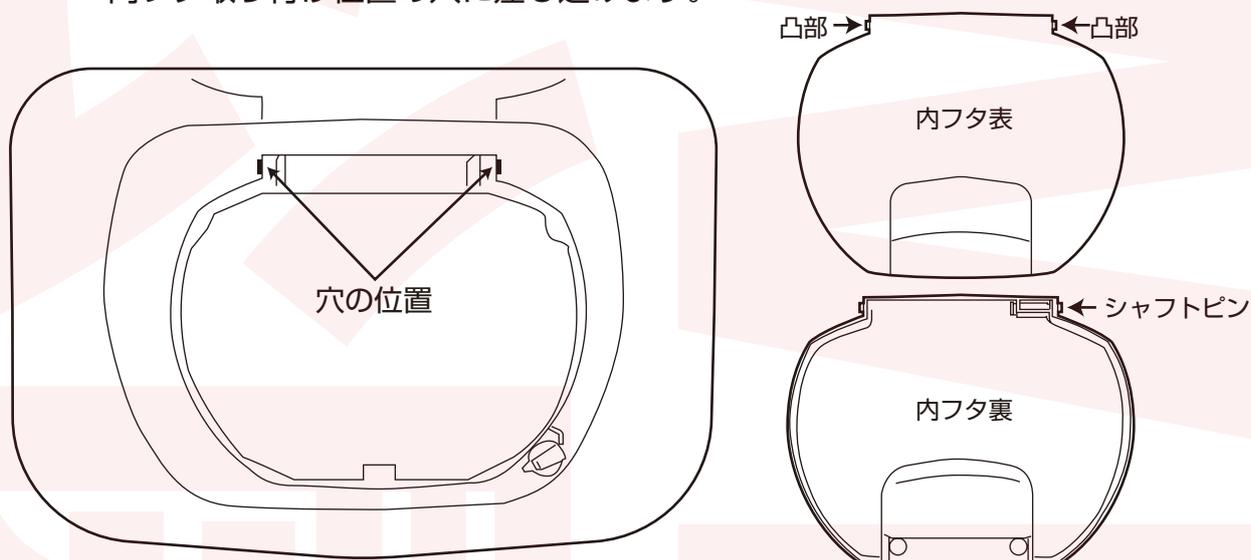
洗濯機を起こします。



組立（内フタの取付）

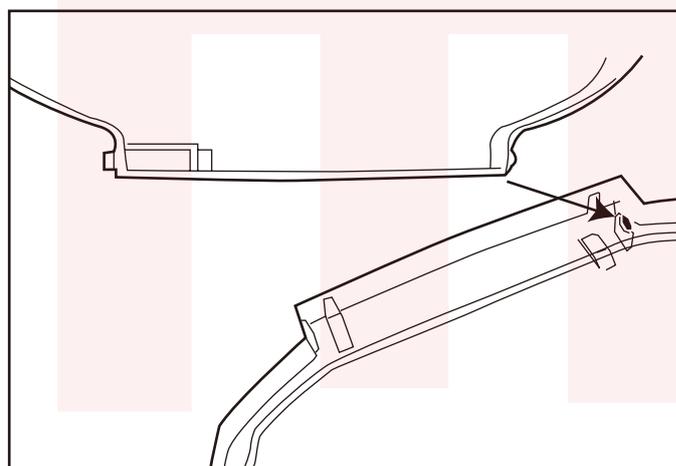
1 取付位置の確認

内フタにはあらかじめシャフトピンがセットされています。内フタの凸を内フタ取り付け位置の穴に差し込みます。



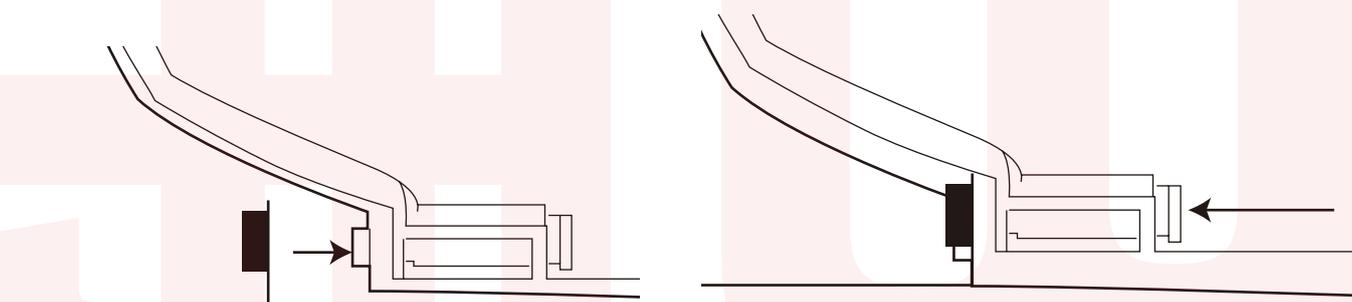
2 内フタ凸部の右側を差し込む

右の穴に、内フタの右凸を差し込む。



3 内フタ凸部左側を差し込む

内フタの左凸を押し込み、内フタ左凸と、左の穴の位置を合わせます。位置が合ったら、シャフトピンを押し込み内フタを固定します。



据え付け

本製品は以下の説明に従い、正しく設置してください。

本書に記載のとおり設置・据え付け・試運転・点検を行わなかった場合、事故や障害が生じてても当社は一切の責任を負いません。

設置場所

- 水平で安定し、振動しないしっかりした場所に設置してください。

⚠ 警告

- ガスコンロなどの熱源から 15cm 以上離す。(火災の原因になります。)

⚠ 注意

- 冬場に凍結するおそれがある場所（室温 0℃ 以下）に置かない。
- 周囲にできる限り物が無い所に置く。（本体から出る水蒸気によって、結露することがあります。）
- 熱源から離し、直射日光の当たらない所に設置する。（塗装のはがれや変色の原因になります。）

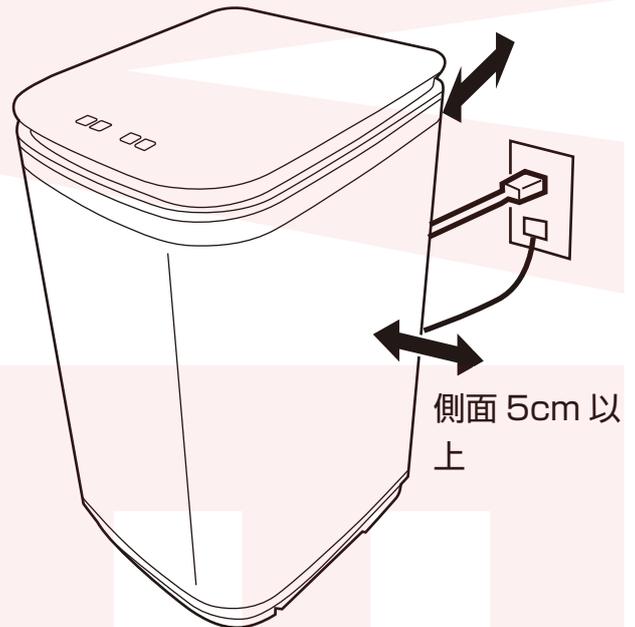
脚の調節

洗濯機の右前の脚の高さを調整することができます。

洗濯機のがたつきがないように調整してください。

- 調整脚を左に回すと脚が高くなります。
- 調整脚を右に回すと脚が低くなります。

後面 5cm 以上



設置場所を移動する際は、排水を行ってから移動してください。移動の際に水もれする可能性があります。

調整脚

据え付け アース・電源の接続

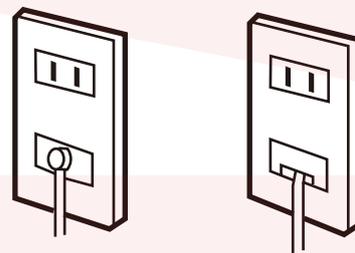
アース・電源の接続

- 万一の漏電時の感電事故を防ぐため、アース線は必ず取り付けてください。
- 漏電遮断器の取り付けもおすすめします。
- アース線を取り付けるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
- 設置場所の変更や転居の際には、必ずアースの取り付けを行ってください。
- アース線の U 字部分がコンセントなどに触れないよう注意して接続してください。
(ショート、故障の可能性 / サポート保証対象外)

1 アースを取り付ける。

アース端子付きコンセントがある場合

アース線先端をアース端子に差し込んで固定してください。



アース端子付きコンセントがない場合

アース工事をしてください。

※電気工事士の有資格者が D 種（第 3 種）接地工事をするよう、法令で定められています。

※弊社ではアース線の取り付け工事や関連するご案内は行なっておりませんので、お近くの電気工事業者にご相談ください。（工事費は本体価格に含まれておりません。）

⚠ 注意

次のようなところには、アース線を接続しない。（法令などで禁止）
ガス管、電話線、避雷針、水栓（蛇口）
水道管は途中から塩化ビニール管になっているところが多いため避けてください。

2 電源プラグをコンセントに差し込む

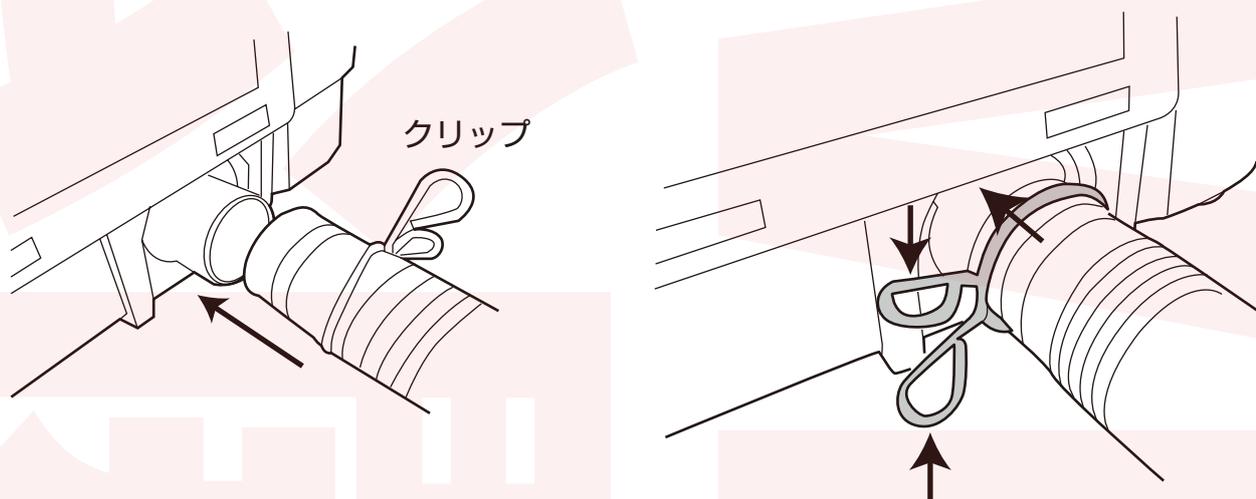
電源は交流 100V、定格 15A 以上のコンセントを単独で使ってください。



据え付け 排水ホースの取付

排水ホースの取り付け

本体背面の排水口に排水ホースを奥まで差し込みます。銀色のクリップを指で挟み、クリップを開いて奥に移動し、排水口に排水ホースを固定します。※排水先に排水ホースを差し込んだときに、排水ホース先端が塞がっていないことを確認してください。

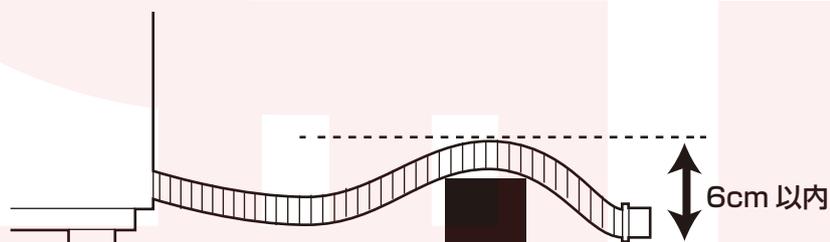


●排水ホースについて

排水ホースは折れ曲がらないようにしてください。
排水ホース先端が、排水の力や振動で抜けまいよう、しっかりと差し込んでください。
排水ホースが長すぎる場合は、ハサミなどで余分な部分をカットしてください。

⚠ 注意

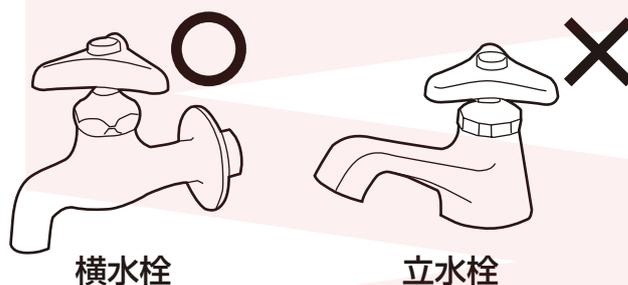
- 排水ホースの高さは 6cm 以内してください。
- 試運転を行い漏れがないか確認してください。



据え付け 給水ホースの取り付け

水道栓は横水栓を使用してください。他の形状の水栓を使用すると、水漏れ、連結部のはずれ等が発生する可能性があります。

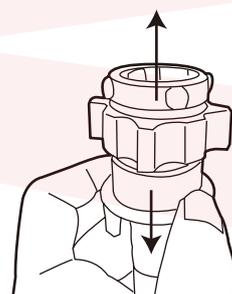
横水栓以外の蛇口をご使用の場合は、一般社団法人日本電気工業会規格（JEM1206）に準拠している水栓をご用意ください。



給水栓つぎての取り付け

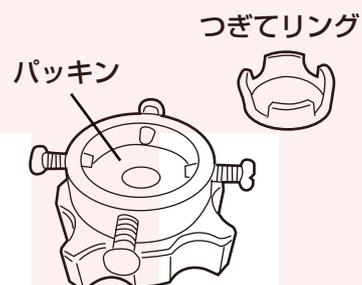
1 給水栓つぎてを外す

給水ホースのスリーブを下げ、給水栓つぎてを外します。



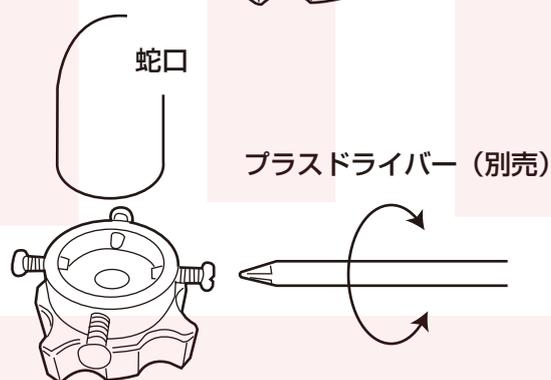
2 蛇口の直径を確認する

蛇口の直径が 18cm 以上の場合は、つぎてリングを外します。



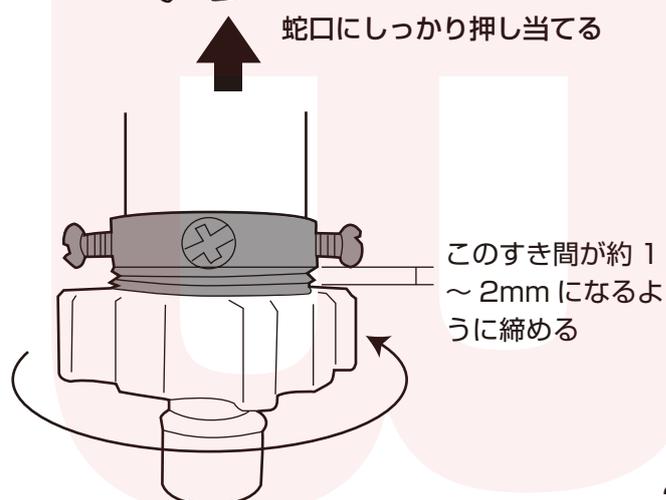
3 蛇口に取り付ける

蛇口の先端に給水栓つぎてを押し当て、蛇口がパッキンの中心になるように、4本のネジを均等にしっかり締め付けてください。※別途プラスドライバーをご用意ください。



4 給水栓つぎて下部を締める

給水栓つぎての下部（白い部分）を回し、銀色のネジ山が見える部分を約 1 ~ 2mm にしてください。

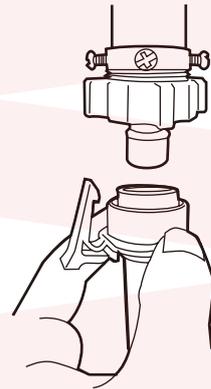


据え付け 給水ホースの取り付け つづき

5 給水栓つぎてに給水ホースを接続する。

給水ホース接続部のレバーを押して、カチッと音がするまで給水栓つぎてに押し込んで接続します。

※接続後は水栓を開き、接続部に水漏れがないことを確認してください。

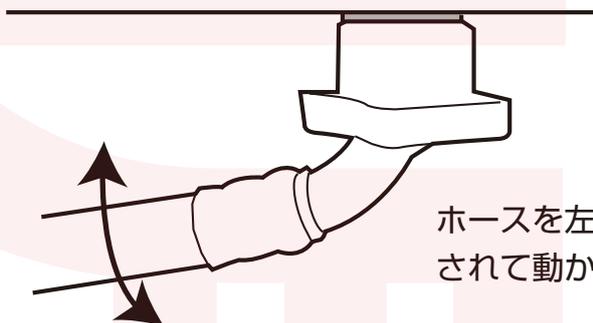
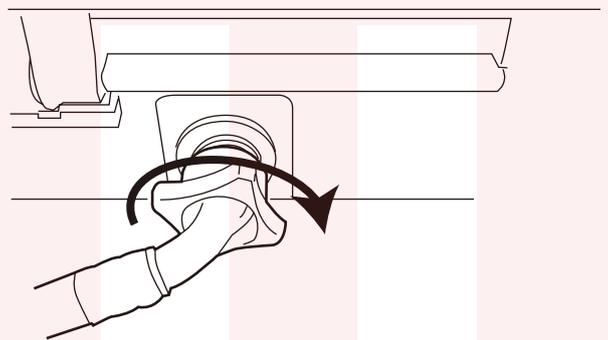
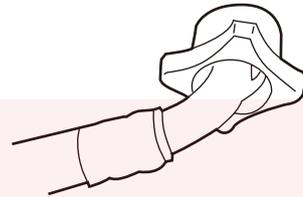


洗濯機に給水ホースを取り付け

給水口に給水ホースを取り付けます。給水ホースのナットを回し、給水ホースを奥までねじ込んでください。取り付けが固い場合には、レンチ（別途ご用意ください）などを利用してねじ込んでください。

隙間があり過ぎると水が漏れますので、下図と同様な状態になるまでナットを回してください。

※ナットが確実に締められていると、ホースを左右に振っても、固定されて動かなくなります。動く場合は、締め付けが弱い可能性があります。



ホースを左右に動かしても固定されて動かなくなります

⚠ 注意

- 本製品を使用しないときは、水道の水栓を閉めてください。水漏れの原因となります。
- ホースが消耗・破損した場合は、ホームセンターなどで市販のホースをお買い求めください。
- 給水ホースは必ず付属の新品を取り付け、古いものは使用しないでください。古いものを使用すると水漏れの原因となります。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、本説明書をよくお読みの上、以下の点を確認してください。

症状	原因	対策
電源が入らない	電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
運転が開始されない	フタが閉まっていない	フタをきちんと閉めてください。
	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグを奥までしっかりとコンセントに差し込んでください。
操作ができない	チャイルドロックされている	チャイルドロックを解除してください。 15 ページ
運転中振動や音が大きい	正しく据え付けられていない	がたつきがないように据え付けしてください。 22 ページ
水漏れする	水栓の形状が適していない	本製品は横水栓に適しています。横水栓以外の蛇口をご使用の場合は、一般社団法人日本電気工業会規格（JEM1206）に準拠している水栓をご用意ください。
	給水栓つぎてが正しく取り付けられていない	【給水栓つぎての取り付け】を参照して正しく取り付けてください。 25 ページ
	給水ホースのナットの締め付けがゆるんでいる	給水ホースのナットをしっかりと締めてください。
洗濯時間が目安よりも長い	正常です	洗濯時間の目安は、水道水圧水温、排水、脱水状態により変わる場合があります。

故障かな？と思ったら

ディスプレイに以下の表示が出た場合、原因と対策をご確認ください。

表示	原因	対策
E1	注水時間異常（30分以上）	フタを開け、給水口が開いていることを確認、ホースや本体から水漏れがないか確認してください。
E2	水の排出異常	フタを開け、洗濯槽や排水ホースにつまりがないか確認してください。
E3	フタが開いている	フタをしっかり閉めてください。
E4	脱水時に偏りあり	フタを開けて、洗濯物の偏りを解消してください。
CL	チャイルドロック中にフタを開けている	フタを閉めてください。
F6	ヒーター異常	故障となり、お客様側で対応できる部分がありません。保証期間内の場合は弊社サポートセンターまでご連絡ください。
F8	水位センサー異常	
F9	オーバーフロー保護	

アフターサービス

【お問い合わせ・修理をご希望をされる場合】

<https://www.thanko.jp/view/page/support>

にアクセスして、サポートページよりご連絡ください。
下記 QR コードを読み取ると、アクセスすることができます。



不具合品のご送付先

ご連絡なく修理品を送付された場合、そのまま返送となります。
必ず上記のページからお手続き後、ご送付ください。

〒275-0024 チバケン ナラシノシ アカネハマ 千葉県習志野市茜浜 2-3-1

EL 内 サンコーサポート宛

TEL 03-3526-4328

(月～金 10:00～12:00 13:00～18:00 土日祝日を除く)

お問い合わせメールアドレス :support@thanko.jp

(自動返信にて URL をご案内します)

仕様

サイズ	幅 420 × 奥行 455 × 高さ 714(mm)
重量	約 18kg
電源	AC100V 50/60Hz
電動機定格消費電力	200W
電熱装置定格消費電力	1250W
標準水量	18L
標準使用水量	48L
洗濯容量	2.8kg 温水 / 熱水 : 1.5kg
洗濯方式	うず巻式
運転音	60 ~ 70dB
電源コード長	約 1.8m
アース線長さ	約 2.8m
水道水圧	0.03 ~ 0.8MPa(0.3 ~ 8kgf/cm ²)
防水性能	IPX4
セット内容	本体、排水ホース (70cm)、給水ホース (120cm)、給水栓つぎて、底板、内フタ、シャフトピン、日本語取扱説明書
保証期間	購入日より 12ヶ月

※本製品の処分・廃棄方法は住まいの各自治体へお問い合わせください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

●本体への表示内容

経年劣化により危険の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります。



【設計上の標準使用期間】6年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

●設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものではありません。

●経年劣化とは

- 長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

●ご注意ください

- 本製品を右記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などでお使い頂いた場合においては、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されますので、製品に表示している点検期間よりも早期に点検を受けましょう。
- 具体的な点検時期は、サポートセンターまでお問い合わせください。
- 製品を目的外の用途で使用したり、業務用に使用されるなど、標準的な使用条件と異なる環境でご使用された場合も設計標準使用期間の到来前に経年劣化等による重大事故発生のおそれが高まることが予想されますが、そのようなご使用は、お控えいただくようお願いいたします

●標準的な使用条件 日本工業規格 JIS C 9921-4 による

区分	項目	条件
環境条件	電源電圧	単相 100V
	周波数	50/60Hz
	温度	20℃
	湿度	65%
負荷条件	負荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧力	0.03 ~ 0.8MPa
	給湯・給水温度	20℃± 15℃
使用時間 及び回数	1日の平均使用回数	1.5回
	1回の使用時間	標準コースの時間
	1年間の使用日数	365日
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回/年



THANKO サンコー株式会社

〒 101-0023 東京都千代田区神田松永町 19 秋葉原ビルディング 8 階

※不具合品のご送付先は別の住所となります。